

元目民市議も決意表明

選挙で自民を落とす

9/22 五旗

戦争法廃止へ集会

国民連合政府つくり

「戦争法廃止、安倍 会が20日、岐阜県土岐市駅前で行われ、100人を超える市民が参加した。



「戦争法廃止」「安倍政権退陣」と怒りを込めて訴える参加者=20日、岐阜県土岐市駅前

岐阜・土岐

「戦争法廃止に反対する土岐市民の会」代表の木股文昭氏（元名古屋大学教員）が怒りのメッセージを紹介したあと、参加者はリレートークで「アベNO、戦争NO」で一致してたたかい抜く決意を語りました。

「土岐市の自民党立ち上げに精進した」という元土岐市職会議長の林力三さん（77）は「物置入れ、存在危機事起、自民党議員」と自ら書いたパネルを掲げ、「選挙で自民を落とすために頑張りたい」と訴えました。

「戦争法廃止に反対する土岐市民の会」代表の木股文昭氏（元名古屋大学教員）が怒りのメッセージを紹介したあと、参加者はリレートークで「アベNO、戦争NO」で一致してたたかい抜く決意を語りました。

「土岐市の自民党立ち上げに精進した」という元土岐市職会議長の林力三さん（77）は「物置入れ、存在危機事起、自民党議員」と自ら書いたパネルを掲げ、「選挙で自民を落とすために頑張りたい」と訴えました。

各地で行動

女性・子どもら 24人パレード
「安保法制を撤廃するまでたがいつづけろ」「女性パレードが20日、岐阜市の金公園に集合、240人の女性、子どもらが市内をパレードしてアピールしました。

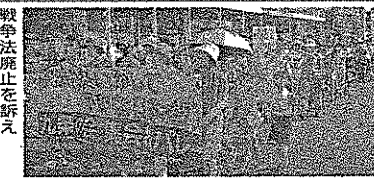
「強行採決絶対忘れない」「憲法の安保法制は無効」「安倍政権は、いままへ退陣」「主権者は私たち。私たちが力で立憲主義・民主主義・平和主義を取り戻そう」参加者は、タンバリンや太鼓をうちながらパレードしました。

主催した同パレード実行委員会の岩田多加子さんは開会あいさつで、「私たち自身の政府をつくっていきましょう」とよびかけ、「安保関連法案に反対するパパ・ママの会きふ」の母たちもベビーカーで参加、「いっしょに行動しましょう」と呼びかけました。

「安倍内閣を退陣させる」戦争法を廃止するまで引き続きたたかおうと、静岡県沼津市で20日、集会とアピールパレードが行われ、180人が参加しました。

主権は、新婦人、民商、市内9条の会などで構成する「戦争させない、憲法壊さない、沼津の会」です。

集会では「強行採決されても戦争法は撤回させ、安倍内閣を退陣させ、戦争法を廃止させる」の決意をこめ



戦争法廃止を訴えるパレードする人たち=20日、沼津市

共同代表の渡辺久丸（77）は「強行採決が本当にくやしい。今日をスタートに改めて声をあげていきたい」と述べました。

「農根大学名誉教授は「安倍政権を続けさせろ」の意思を示しても選挙で18歳若者にもNOの意思を示してもらうためにも、頑張ってアピールしよう」と呼びかけました。

市内繁華街を「安倍はやめろ」「戦争法は今すぐ廃止」とコールして歩くと沿道の市民が注目し、手を振っての応援がありました。

初めて参加した女性（27）は「戦争は普通の生活ができなくなる。恐怖で心がふるえている。このままではいけない」。元氣よく

コールしていた女性（27）は「強行採決が憲法9条を守って戦争をしないではない」と話していました。